

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	36 東名高速道路へのアクセス強化による安全で快適なまちづくり		
計画の期間	平成24年度 ～ 平成27年度 (4年間)	交付団体	焼津市
計画の目標			

東名高速道路焼津・吉田間へのスマートICの整備を行い、高速道路の利便性の向上による地域経済の活性化と地域の交通混雑の緩和による周辺環境の改善を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・スマートIC利用交通量を7,600台/日（H27）とする。 ※（仮）大井川藤枝スマートIC実施計画書における計画交通量5,800台/日（H42）
- ・国道150号富士見橋の通過交通量を31,880台/日（H17）から19,000台/日（H27）へ減少

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値	中間目標値	最終目標値							
スマートICの利用交通量を調査する。 評価時点の利用交通量（台/日）	0		7,600							
交通量調査により国道150号富士見橋の通過交通量を調査する。 評価時点の国道150号富士見橋の通過交通量（台/日）	31,880		19,000							
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,582 百万円	A	1,582 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

交付対象事業

A 地方道路整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接 間接	事業 主体	道路 種別	省略 工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
												H24	H25	H26	H27	H28			
36-A1	道路	一般	焼津市	直接		市町村道	改築	0.55	(1) 0105号線	現道拡幅 L=1.00km	焼津市						1,441	○	
36-A2	道路	一般	焼津市	直接		市町村道	交安	0.55	(2) 0209号線駐輪場整備事業	駐輪場整備 L=0.05km	焼津市						13	○	H26よりA4へ移行
36-A3	道路	一般	焼津市	直接		市町村道	交安	0.55	スマートIC周辺交通環境整備事業	安全対策施設整備	焼津市						52	○	H26よりA4へ移行
36-A4	道路	一般	焼津市	直接		市町村道	交安	0.55	スマートIC周辺道路整備事業	歩道整備 L=0.65km	焼津市						76	○	
合計												1,582							

B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接 間接	事業 主体	省略 工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
											H24	H25	H26	H27	H28			
合計												0						

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接 間接	事業 主体	省略 工種	率 (基本)	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
											H24	H25	H26	H27	H28			
合計												0						

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
I 定量的指標に関する 交付対象事業の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・本線直結型のスマートIC設置により、東名高速道路へのアクセスが向上した。(36-A1) ・スマートICと連結する市道に右折レーンを設置したことにより、東名高速道路利用者の利便性が向上した。(36-A1) 				
II 定量的指標の達成状況	指標① 評価時点の利用交通量(台/日)	最終目標値	7,600	台/日	目標値と実績値に差が出た 要因	並行する(主)島田吉田線の「はばたき橋」が開通したことにより国道150号の大井川渡河部の渋滞が概ね解消し、これを回避するための東名高速道路の利用が予測より少なかったため、目標未達成となった。
		最終実績値	5,817	台/日		
	指標② 評価時点の国道150号富士見橋の 通過交通量(台/日)	最終目標値	19,000	台/日	目標値と実績値に差が出た 要因	
		最終実績値	24,693	台/日		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記載)		<ul style="list-style-type: none"> ・スマートIC開通により、周辺企業の所要時間が約16分短縮した。(トラックドライバーの負担軽減)(36-A1) ・焼津市宗高地区から第三次医療施設までの所要時間が約7分短縮した。(救急医療)(36-A1) ・スマートIC開通後、国道150号の旅行速度が約2割改善した。(旅行速度が約5km/h向上)(36-A1) 				
3. 特記事項(今後の方針等)						
引き続き、スマートICの利用促進のPR等を継続する。						

・進捗状況については、○：計画期間内に完成、△計画期間終了後に完成見込み、－：その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等))